

うつとおしいお参りの続く毎日ですが皆様にはいかがが経過しておりますか。早いもので一学期も、もう終ろうとしています。そこで今日はこれまでの主な行事についてご報告申し上げます。

六月七日 県立高校 P T A 連合会の総会があり、私と長谷川先生が出席いたしました。席上、曾山教育長より生涯教育についてお話しがあり、高校の三年間は生涯教育の基礎をつくろい、一番大切な時期だから、学問は勿論だが豊かな人間性を養うことも忘れないうで、各家庭でもその点に特に力を入れて指導するよう要望がありました。

六月廿日 校舎の建設促進と第二期工事(理科教室体育館プール等)について、県の教育庁の方々と打合わせの会をいたしました。P 側より私と足立建設委員長が出席し、九月に行われる県議会で第二期工事の予算を必ず獲得してもらい、そして予算がつかず第一日も早く工事に着手してもらおうようお願いいたしましたところ、滝管理課長より、長い間ご迷惑をかけたお詫びの意味でも、何とか父兄の皆様のご期待に添うよう最大の努力をばらうという力強い返事を受取ることができました。

七月廿日 実行委員会を開き諸行事の報告の後、雨の中を、ご迷惑と思いましたが、委員の方々全員で校舎の建設状況を視察してもらい、現地で果の担当官ならびに現場監督に会い、その労をねぎらうと同時に今後の工事も遅滞なく進めていただくよう、お願いいたしました。現在工事は基礎のコンクリート打ちも終了、いよいよ建物にかかるころです。一階の部分が一階の部分が八月初旬に二階が八月中旬に三階が九月中旬に出来上がる予定です。それから内装工事に移り、来年一月末には完成して、学校へ引渡しという段階になっております。記録的な大雨で心配しておりました工期ですが、担当官の話ですと現在のところ予定より五日程度遅れているだけで、思ったより順調に進んでいるとのこととです。

十月中旬頃皆様を新しい学校の視察にご案内申上げらるべく目下計画を進めておりますので、その節はよろしくお預け申し上げます。

校 長 原 田 賢 三

皆さまのご協力により一学期も無事終ろうとしています。会長の報告にありますように、新校舎の第一期工事は順調に進んでおります。施工業者は建物に加藤組、衛生施設は鈴木工務店、電気関係は加藤電気工業株式会社、第二期以後の工事(特別教室棟、体育館兼講堂、武道館、プール、建築、ランド整備等)については今のところ九月の補正予算に、地費と調査設計費が組まれ、来年度の当初予算(二月の県議会でご審議)に建築工事費が組まれることになりそうです。うまくいけば来年度の七月にはプールだけ使用できるようになるかも知れません。

長期休暇を迎えるに当たり、生徒もご家庭でもいろいろご計画のことと存じますが、この期間は自主的な学習や体力づくりによって、飛躍的な学力の向上や健康の増進がはかられる好機でもあるし、また解放感が原因になって不規則な生活に流れたり、不慮の事故も起る時でもあります。( ) 休暇中の生徒生活の心得は、全生徒に渡してあります。父母の皆さまもぜひ目を通しておいて下さい。

生徒は学校を離れて家族の皆さんと話し合う機会も多くなると思えます。将来の進路のことなど相談にのつてやって下さい。

旅行や登山などは場所の選定をはじめ細かいことまで注意して指導してほしいと思います。日ごろから連絡をよく取る習慣をつけておいて下さい。

水泳は非常によい運動ですが、一歩誤ると大変な危険を伴うものです。東京から大磯へ前夜二輪車で乗りつけて徹夜し、翌日泳いで死した高校生の例がこのシーズンはじめに報告されました。健康状態、体調には細心の注意をばらうに絶対に無理をしないようにさせて下さい。

今年四月から六月まで本県の高校生の交通事故は二十三件、うち死亡八名で前年同期に比較し激増しています。(昨年のこの期間では死亡ゼロ) 高校生の事故は自爆型と言われ